

# パソコンによる覚えやすい ローマ字入力「愛うえお」

奈良県立高等技術専門校 販売実務科 脇 長泰

## 1. はじめに

知的障害のある訓練生は、単純なローマ字を覚えることが苦手であるため、この教材によって少しでも理解を得られるきっかけになればと思い開発した教材です。

販売実務科の訓練生は、開校当初と比べますと資質や能力に少しずつの変化が窺えるため、コンピュータ訓練においても教材の改良や研究創作制作も進めています。

特にこの2年間においては、ひらがな入力の訓練生が多くなっています。中学や高校の授業で、「ローマ字を覚えきれないために、ひらがな入力を薦められた」と言う訓練生もあり、能力がありながら自分であきらめている訓練生もいます。

そこで、パソコンやスマートホンなどで無理なく楽しくゲーム感覚でローマ字入力ができるように本教材の研究開発にあたりました。

## 2. 教材の工夫点

### 2.1 他の類似教材と比較して

- (1) パソコン及びOSの操作方法も同時に学習できます。
- (2) 表計算ソフトや文書作成ソフトの使い方も平行して学習することもできます。

### 2.2 知的障害者に向けた開発にあたっての工夫点

- (1) ローマ字入力をより覚えやすくと考え、自分の

名前や住所の入力、また、反復文字などを基本操作の習得用文字としました。

- (2) 履歴書は、就職に向けて必要となる書類となるため、入力作業自体が、手書き履歴書の見本となります。(アルファベットのふりがな)
- (3) 道路標識は、通学途中で必ず目にする情報源ですが、標識の漢字を読むのは困難です。一般に道路標識は、図1のように地名の下にローマ字で記載されています。ローマ字を習得することによって、たとえ漢字が読めなくとも、ローマ字を読むことができれば漢字が読めた事と同等になり日常生活で不便を感じなくなります。

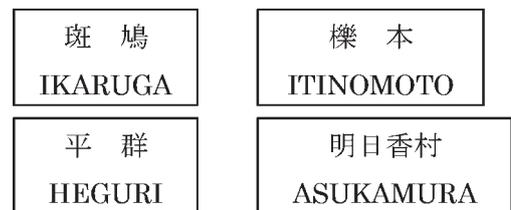


図1 一般的な道路標識の記載例

### 2.3 作業性

上記2.1及び2.2をふまえて、下記の作業性を投入することとしました。

- (1) 入力作業の楽しさ  
入力作業を少しでも楽しく行えるよう、**カラー文字**や色ベタ地にカラー文字の浮き出しや抜き文字などを採用した。
- (2) 覚えやすさ  
例えば、ローマ字入力においてKとAで「か」



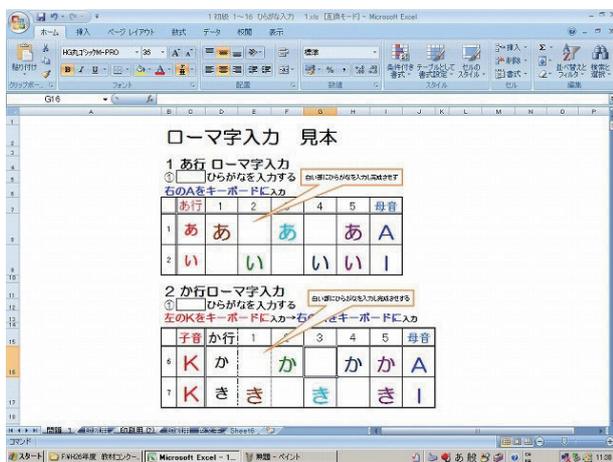
パソコンで履歴書を入力することで、手書きに自信のない訓練生が安心した様子が窺えました。さらに手書き履歴書の見本になります。

(4) 実践編 (常識用語など知識習得のためにしてほしい教材)

都道府県名の入力は50音順に並べ換えてあり、ひらがなで出題された解答を漢字・カタカナで入力作業を行います。



図5 自分の名前NARA TAROU 奈良 太郎



偏と旁を左右分離し [か] KとA

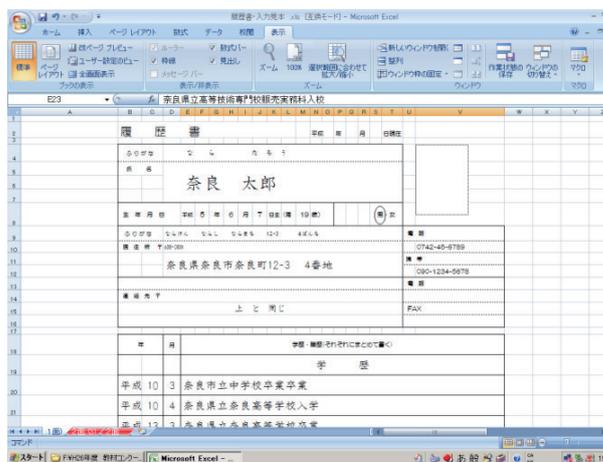
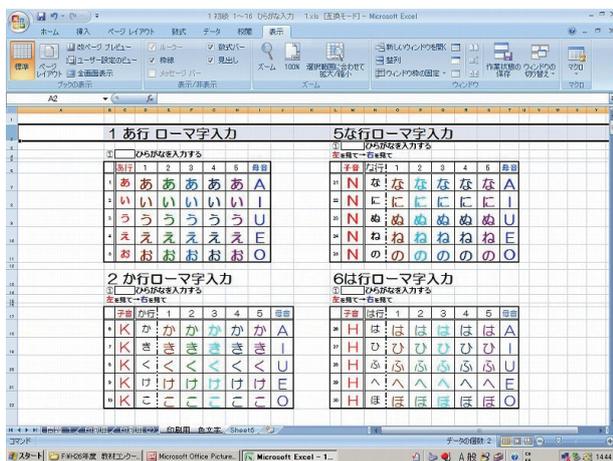


図6 履歴書の名前・住所の入力



上図の入力見本

図4 ローマ入力1 (あ) から16 (ん)

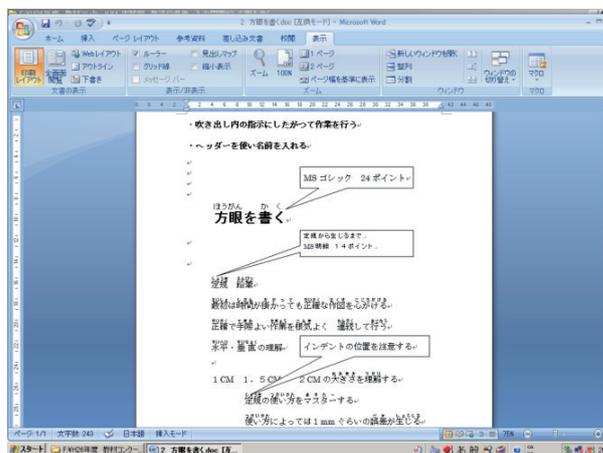


図7 簡単文の入力 (40文字程度の短文)



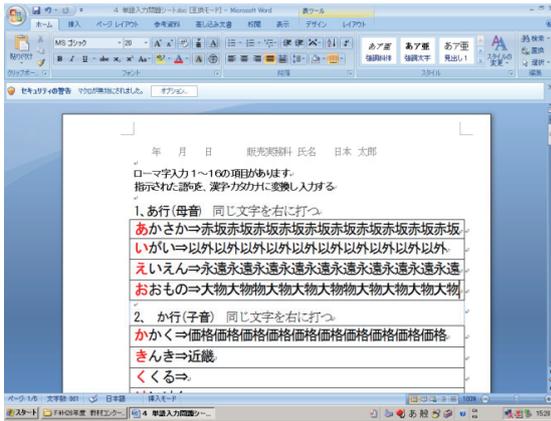


図13 入力コンテスト (漢字表記)



図14 入力コンテスト (カタカナ)

### 3. 指導上のポイント

- (1) 訓練上の迷いや混乱を回避するための対応
  - 販売実務科の標語「危険防止と安全確認」の中で“決められた手順で作業する”があります。
  - キーボードの作業手順をゆっくりと説明を行います。
  - ・初歩編のか行の表組み左右をしっかりと見る
  - ① Kのキー② Aのキー③エンターキー④TABキーを押し、次のセルに移る。
- (2) 訓練上の迷いや混乱が生じた場合の対応
  - ・上記①の作業時に手元作業を確認します。
  - ・エンターキーを2回押す生徒も多いです。
  - ・多くの作業ミスの原因は、実力以上に早く入力しようとするためですので、ゆっくりと入力するよう指導します。
- (3) 訓練生の個々の進捗状況に応じた対応策
  - ソフトの基本作業の一つである「名前をつけて保存」の機能を使います。
  - ①初歩編のフォルダを作る。

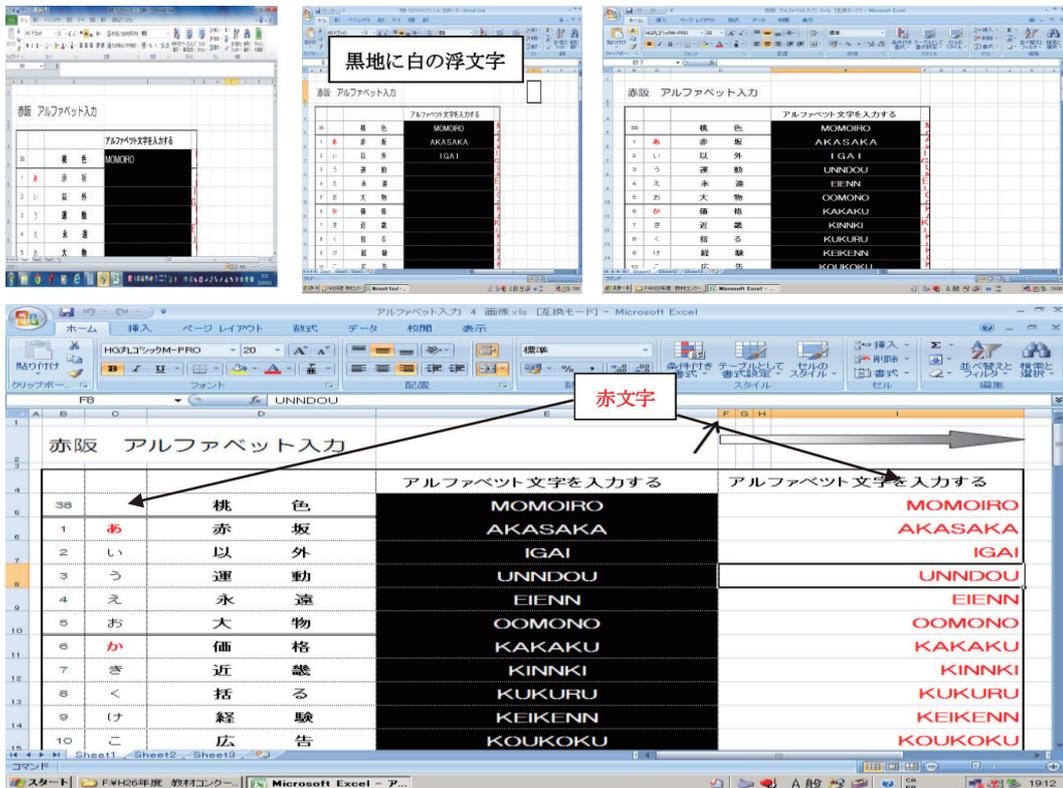


図15 入力コンテスト

- ② 1日目 1と初歩編と入力する(1初歩編となる)。
- ③ 2日目 「1初歩編」を開き、作業を終了すると、「2初歩編」と名前を付けて保存する。

- ・文書作成ソフトの場合は、文字カウント(入力文字数)の記入  
(文字カウント数は、文書作成ソフト画面のタスクバーの左下にページ数 文字数000と表記されている。)
- ・表計算ソフトの場合は、表組み横の数字を読み、何番まで入力出来たか、を確認する。
- ・カウント表に入力文字カウント数を記入する。
- ・表計算ソフトの場合は進行作業番号を記入する。

#### 4. 教材の使用結果

##### (1) 訓練生の感想(良かったこと、改善点)

- ・全くパソコンに縁がなかった生徒から初歩編のK+Aで、「か」の文字が出てくることを知ることができた。
- ・名前NARA TAROU 奈良 太郎と誰よりも一番よく知っている自分の名前のアルファベットにフリガナをつけることができよかった。
- ・自分の名前と住所の入力訓練(図16)によって名前と住所が入力できるようになった。
- ・ローマ字入力に不安を感じている訓練生からは、価格(かかく)のような重複文字でも、キーボードの位置を把握でき、入力できるようになった。との感想を頂いた。

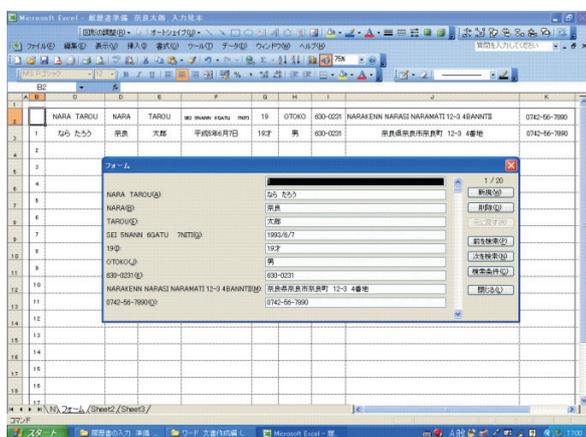


図16 表計算ソフト住所(データからフォーム)

- ・ローマ字入力では、入力を間違えると変換されないため、自分の入力が正確に行われているのが良くわかる。

##### (2) 別の指導者が実施したときの感想

従来はローマ字表を渡され文字入力していたが、本ツールは、画面上で作業を進めることができるので、作業性が向上した上に、指導もしやすく、確認作業もしやすい。

#### 5. まとめと今後の展望

##### (1) 本教材利用の可能性

本教材は、当校販売実務科に入学する18歳以上の知的障害を持つ訓練生に向けて開発したものです。

しかし、本ツールの開発及び実施を通して、訓練生だけではなく、キーボード操作をこれから始める、もしくは始めたばかりの一般の園児や学童等にも利用の可能性があるのでないかと考えられます。

紙上で50音のローマ字を覚えることは、大変です。しかし、その作業を如何に楽しくかつ無理なく行えるよう工夫することによって別の作業を考える、行える意欲も出てくるのではないかと思います。

##### (2) 今後の改善点

現在アルファベット入力赤坂(AKASAKA)において、集中力を高める訓練として、解答との照合作業を実施しています。その際、入力し



図17 演習風景

たアルファベット表記について技術的な作業を含めて、入力ミス部分をカラー表示すればより良く理解できるのではないかと考えています。

(例：AKASAJA)

(3) 他の活用方法としては

日本各地の指導員(先生)さんで各地名表示を考えてクイズ形式はいかがでしょう

例題

訓練生(生徒)読めるかな? 漢字・ローマ字

(いかるが) ( )

斑鳩
IKARUGA

平群
HEGURI

( ) ( )

櫛本
ITINOMOTO

明日香村
ASUKAMURA

(4) 教材の公開と利用方法について

本教材に興味を持たれましたら是非、奈良県立技術専門学校を定年退職しましたので、下記アドレスへご連絡ください。

[cgdqp585@yahoo.co.jp](mailto:cgdqp585@yahoo.co.jp)

※) なお本報告は、私が、奈良県立高等技術専門学校販売実務科(知的障害専科)に在任中の平成25年度に、教材コンクールにおいて、中央職業能力開発協会会長賞を受賞した作品を論文形式に再構成したものです。